

Keyword

- ✓現場の意識改革
- ✓性別に依存しない現場
- ✓ロールモデルの創出



自社の業務分析と自動化による女性活躍推進体制整備へ！



背景・課題

社内の意識改革を行い、採用とセットでの仕組みづくり

- 男女を問わず採用活動を行っているものの、人材確保に苦戦していた。特に女性については、事務職で採用した後会社辞令で現場へ異動させた場合、早期離職やモチベーション低下につながるケースが見られた。
- 現場配属を打診した際に強い拒否反応が出ることも多く、製造現場への心理的ハードルの高さが顕在化していた。
- 他方、現場においては、重量物作業や大型製品の取扱いが多く、現場業務は男性中心になっていた。
- 経営層も含めた意識改革の必要性を感じており、本事業により女性活躍を推進し、組織全体のモチベーション向上や風土改革の契機にしたいという強い意向があった。
- そのため、「採用とセットでの仕組みづくり」「業務仕分けによる役割の再設計」を通じて、女性が自然に現場で活躍できる環境を構築するため、本事業に参加した。

支援のポイント

- 業務仕分けの作成だけでなく、社員満足度調査で社員の意識調査を行い、社内の課題を見える化した。
- 組織全体のモチベーション向上や風土改革の改善へ向け、経営層を含めた管理職から意識変革を行った。



取組内容

業務を細分化・分析し、性別に依存しない作業体制を構築！

- 社内アンケートや社員満足度調査の結果、約7割が性別による作業分担に関し、固定観念を持っている事が判明。特に板金・切削・倉庫部門では、身体的負担の大きさが女性の業務領域拡大を阻む要因となっていた。
- 管理職・女性従業員対象のアンコンシャス・バイアス研修を実施し、無意識の思い込みを可視化。コミュニケーション研修で、部下との適切な関わり方を学び、多様な人材が活躍できる職場づくりへの意識向上につなげた。
- さらに、業務仕分けにて、業務を細分化・分析し、大型部品を取り扱う一部の業務を除き、ほとんどの部門に女性が担える工程があることを再認識することが出来た。



オリジナルキャラクター
フジコちゃん

業務仕分表

部門	業務カテゴリ	業務内容	男女別の従事割合	代辦率レベル	経験	資格	部門	業務カテゴリ	業務内容	男女別の従事割合	代辦率レベル	経験	資格	
板金	CAD	CAD/CAM	①女性75%・男性25%	1: 概代辦率	必要	不要	切削	製造関連	加工・製造業務 (口アタリ)	②女性25%・男性75%	2: 中程度代辦率	不要	不要	
	プランク	プランク	①女性0%・男性100%	3: 高代辦率	必要	必要			CAD/CAM-プログラム関連	②女性25%・男性75%	2: 中程度代辦率	不要	不要	
	バリ取り	バリ取り	①女性0%・男性100%	2: 中程度代辦率	必要	不要			仕上げ・洗浄作業	②女性75%・男性25%	2: 中程度代辦率	不要	不要	
	加工	曲げ加工	①女性0%・男性100%	2: 中程度代辦率	必要	必要			品質管理 (検査)	②女性50%・男性50%	1: 概代辦率	不要	不要	
	前加工	前加工	①女性0%・男性100%	2: 中程度代辦率	必要	必要			設備・工具・保全	②女性25%・男性75%	2: 中程度代辦率	不要	不要	
	配線	配線	①女性100%・男性0%	1: 概代辦率	必要	必要			作業指示書・検査入力	②女性100%・男性0%	1: 概代辦率	不要	不要	
	圧入	圧入・カッタ	①女性0%・男性100%	1: 概代辦率	必要	必要			生産管理・工程管理	②女性75%・男性25%	1: 概代辦率	不要	不要	
	溶接	溶接	①女性0%・男性100%	2: 中程度代辦率	必要	必要			出荷管理	②女性100%・男性0%	1: 概代辦率	不要	不要	
	溶接上げ	溶接	①女性0%・男性100%	3: 高代辦率	必要	必要								
	ヤク取	ヤク取	①女性0%・男性100%	2: 中程度代辦率	必要	必要								
検査	検査	①女性0%・男性100%	1: 概代辦率	必要	必要									
事務	事務 (出荷伝票・発注)	①女性100%・男性0%	1: 概代辦率	不要	不要									
納品	納品	①女性0%・男性100%	2: 中程度代辦率	必要	必要									

- 高負荷作業を特定し、「人が担う作業」から「設備で代替する作業」へ転換。
- 重量物対応を設備化することで、性別に依存しない作業体制を構築した。
- 切削・組立工程において、加工プログラム作成や工程管理、資格取得まで担う女性社員が誕生。
- さらに広報・デザイン分野でも女性が主体的に参画し、企業ブランド向上にも寄与している。

成果・今後の展望

- 本事業を通じて、アンコンシャス・バイアスの可視化および業務の棚卸・細分化を実施し、女性活躍を阻害していた要因を整理した。
- 重量物取扱い等の高負荷業務については、自動倉庫や搬送機器等の導入検討・整備を進めることで、省力化・自動化による作業環境改善を図っている。
- 今後は、自動化設備の本格導入および人材育成施策の充実を図り、女性管理職候補の育成やキャリア形成支援を強化する。
- 女性活躍を一過性の取組にとどめず、入社した多様な人材が能力を發揮できる持続可能な生産体制の構築へと発展させていきたい。

代表のコメント

代表取締役 木下 不二夫 様



今回の取り組みでさらに女性が活躍できる仕事が多々あることに気づくことができました。今後もより一層の職場改善を進め、女性が働きやすい職場づくりを構築していきたいと考えています。

会社概要

フジセン技工株式会社

代表取締役 木下 不二夫

事業内容 電気機器、半導体製造装置、測定機器、省力化装置に関する開発・設計、精密板金部品、機械部品加工、基板実装、組立、配線、調整

創立年 1987年

資本金 9,000万円

従業員数 120名 (うち女性40名)



〒 栃木県足利市南大町400-6

https://fujisengikou.com/